

# 香川大学におけるデジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの内製開発

菊池 志帆

香川大学 創造工学部 / 香川大学 情報化推進統合拠点DX推進研究センター

## 1. はじめに

- エンロールメント・マネジメントとは、**学生の募集から卒業までの全プロセスを戦略的に管理し、最適な学生体験を提供するための統合的マネジメント**のことを指す
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは、エンロールメント・マネジメントにおける**在学段階の支援**に位置づけられる(図1)
- 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)は、**企業や組織のDX推進に必要な「5種類のDX推進人材」**を定義するとともに、それぞれに求められる**スキルや知識を「DX推進スキル標準」として体系化した**
- 「DX推進スキル標準」では、**5種類の人材類型(図2)と、ロール、DX推進において担う責任が規定されている**
- 近年、社会全体でDXの重要性が高まる中、**香川大学では高度情報専門人材育成(DX人材育成)事業を開始**
- 教務システムからAPIを用いて学生情報を取得し、学生の知識やスキル獲得状況を可視化し、自己理解やキャリア形成に活用できるデジタルスキルポートフォリオ作成支援システムを内製開発した**

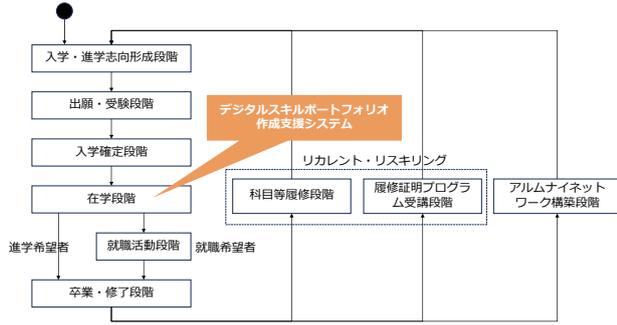


図1 本研究で定義したエンロールメント・マネジメントのサイクルとデジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの位置づけ

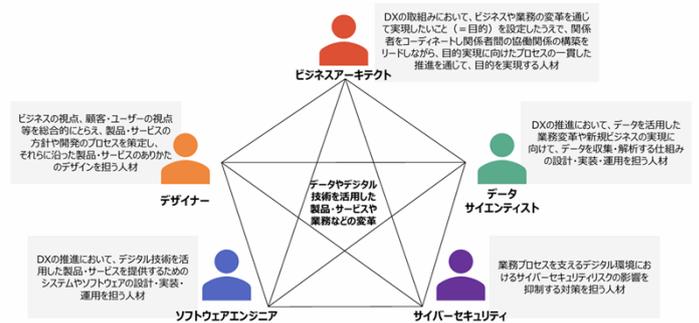


図2 人材類型の種類(出典:独立行政法人情報処理推進機構)

## 2. デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの開発

- 基幹システムである**教務システムと香川大学が内製開発した業務システムをAPIで連携し、システム開発に取り組んだ(図3)**
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは**履修情報取得機能とデジタルスキルポートフォリオ作成機能の2つの機能から構成されている**
- 履修情報取得機能は、**Microsoft Power Automateは、APIを用いて、教務システムから、学生情報・成績情報を定期的に取得し、Microsoft SharePoint上に構築されたデータベースに格納する**
- デジタルスキルポートフォリオ作成機能は「**DX推進スキル標準**」と香川大学で開講された授業を紐づけた対応表をベースに、**学生ごとのスキル獲得の達成度をレーダーチャートやグラフなどで表示**

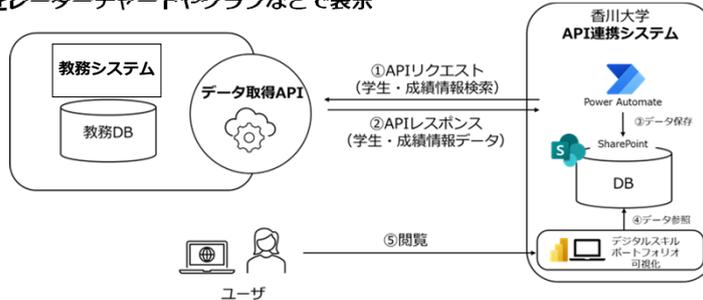


図3 デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムのシステム概要図

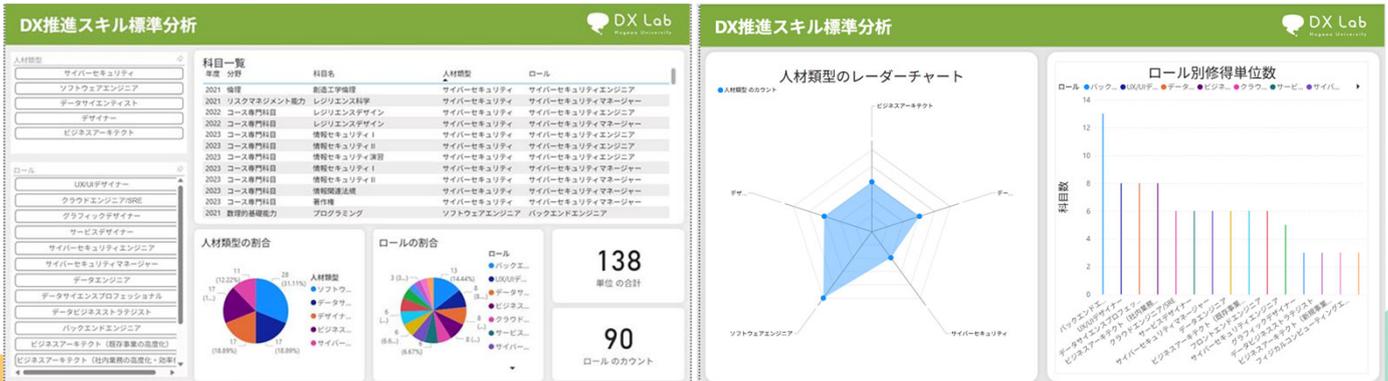


図4 デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの可視化画面

## 3. まとめ

- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムはエンロールメント・マネジメントの**在学段階の支援**に位置づけられる
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは、IPA が定義する **5 種類の DX 人材類型**に基づき、**学生が自身の知識やスキル獲得状況を可視化する**
- 単なる履修管理にとどまらず、学修成果の内省や将来のキャリア設計に資するツールとして作用する効果が期待できる**